

# Styling Kit DJ-06

フロントグリル No.MDJ2510

取付・取扱説明書

# AutoExe

A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒135-0051 東京都江東区枝川2丁目15番8号  
TEL: 03-6458-7251 FAX: 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ「スタイリングキットDJ-06」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は当製品を車両に組付ける前に行う作業、組付けるときの注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付けの際には、内容を理解された上で正しい取付けを行ってください。また、作業終了後には本書を必ずお客様にお渡しください。

**ご注意 ※当製品の装着に際し、以下の注意事項を厳守してください。**

1. 本書に記載する説明にしたがって作業を行ってください。本書に記載する以外で、当製品の加工・改造・分解および、車両の改造は行わないでください。
2. 当製品の通常の取付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方々は自動車整備を専門に3年以上経験されている方、または当該経験者の監督下で作業が可能な方を原則とします。
3. 純正部品の取外し・取付け作業は、マツダ(株)発行の整備書を参照に作業を行ってください。
4. 下記に記す適合車種以外には絶対に取付けしないでください。
5. 製品の浮きや剥がれ防止のため、両面テープ接着時は十分に圧着してください。また、取付作業後24時間以内に洗車や雨天走行は絶対に行わないでください。
6. 製品装着後に360° ビュー・モニター・システム フロントカメラのエーミング調整が必要となる場合があります。

## 警告

本製品はミリ波レーダー(SBS/MRCC)およびAT誤発進抑制機能の作動保証をするものではありません。前走車の種類や状況、道路状況、天候状況、障害物の形状などによっては適切に作動しない場合があります。

ミリ波レーダー(SBS/MRCC)機能は、ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負荷の低減を目的としています。各機能には限界がありますので、過信せず、安全運転を心掛けてください。

## 警告

レーダーセンサーが誤作動し思わぬ事故につながる恐れがあるため、本製品を塗装したり、ステッカー(透明なものを含む)およびエンブレムなどを貼付けたりしないでください。

## 適合車種

MAZDA2(DJ系)全車

## 構成部品

No.	部品名称	仕様	数量	No.	部品名称	仕様	数量
①	フロントグリル	ABS製 ピアノブラック・艶消し黒 塗装済	1	⑦	トラスボルト	M5 × 12mm	14
②	カメラブラケット	ABS製	1	⑧	フランジナット	M5	14
③	カメラフタ	ABS製	1	⑨	トラスボルト	M4 × 16mm	4
④	センサーブラケット	ABS製 L/R	各1	⑩	フランジナット	M4	4
⑤	センサーフタ	ABS製 L/R	各1	⑪	PACプライマー	N200	1
⑥	ナンバーブラケット	ABS製 ピアノブラック塗装済	1				

## 装着手順

1. 車両からナンバープレートを取外します。取外した純正ボルトは再使用します。
2. 図1を参照し、車両からアッパーフェースを取外します。  
アッパーフェースを取外す際はリベット4箇所を破壊し、純正ファスナー(4箇所)を取外します。取外した純正ファスナー4個は再使用します。
3. フロントバンパーを取外します。取外した純正ビスは再使用します。
4. 図1を参照し、フロントバンパーからロアグリルモールディングを取外します。取外した純正ビスは再使用します。
5. 整備書を参照し、フロントバンパーからラジエターグリルを取外します。取外した純正ビスは再使用しません。
6. 図2を参照し、ライセンスプレートホルダーからクリップナットを取外します。取外したクリップナットは再使用します。
7. 図3を参照し、ラジエターグリルからフロントカメラと、超音波センサーを取外します。取外した純正ビスは再使用しません。
8. 図4を参照し、①フロントグリルの両面テープ貼付け面を洗浄脱脂し、⑪PACプライマーを塗布し十分に乾燥させます。  
⑨トラスボルトと⑩フランジナットを使用し、フロントカメラを②カメラブラケットに移設した後、②カメラブラケット裏面の両面テープ離型紙を剥がし、①フロントグリルに貼付けます。  
※フロントカメラ無し車は、図4を参照し①フロントグリル裏側の両面テープ貼付け面を洗浄脱脂後、③カメラフタ裏側の両面テープ離型紙を剥がし、①フロントグリルに貼付けます。
9. 図5を参照し、①フロントグリルの両面テープ貼付け面を洗浄脱脂し、⑪PACプライマーを塗布し十分に乾燥させます。  
④センサーブラケット内側の両面テープの離型紙を剥がし、超音波センサーをしっかりと貼付けた後、④センサーブラケットのフランジの両面テープ離型紙を剥がし、①フロントグリルに貼付けます。  
※超音波センサー無し車は、図5を参照し①フロントグリル裏側の両面テープ貼付け面を洗浄脱脂後、⑤センサーフタ裏側の両面テープ離型紙を剥がし、①フロントグリルに貼付けます。
10. 図6を参照し、6で取外した純正クリップナットを⑥ナンバーブラケットに移設した後、⑦トラスボルトと⑧フランジナットを使用し①フロントグリルに取付けます。
11. 図7を参照し、⑦トラスボルトと⑧フランジナットを使用し、①フロントグリルの12箇所をフロントバンパーに固定します。
12. 整備書を参照し、ロアグリルモールディングを車両に復元します。
13. 整備書を参照し、フロントバンパーを車両に復元した後、フロントカメラと超音波センサーの配線を繋ぎ、正常に作動することを確認します。
14. 図8を参照し、純正ファスナーと、⑨トラスボルト、⑩フランジナットを使用し、アッパーフェースを車両に復元します。
15. 図9を参照し、純正ボルトを使用し、⑥ナンバーブラケットにナンバープレートを取付け、作業完了です。

図1 アッパーフェースとロアグリルモールドの取外し

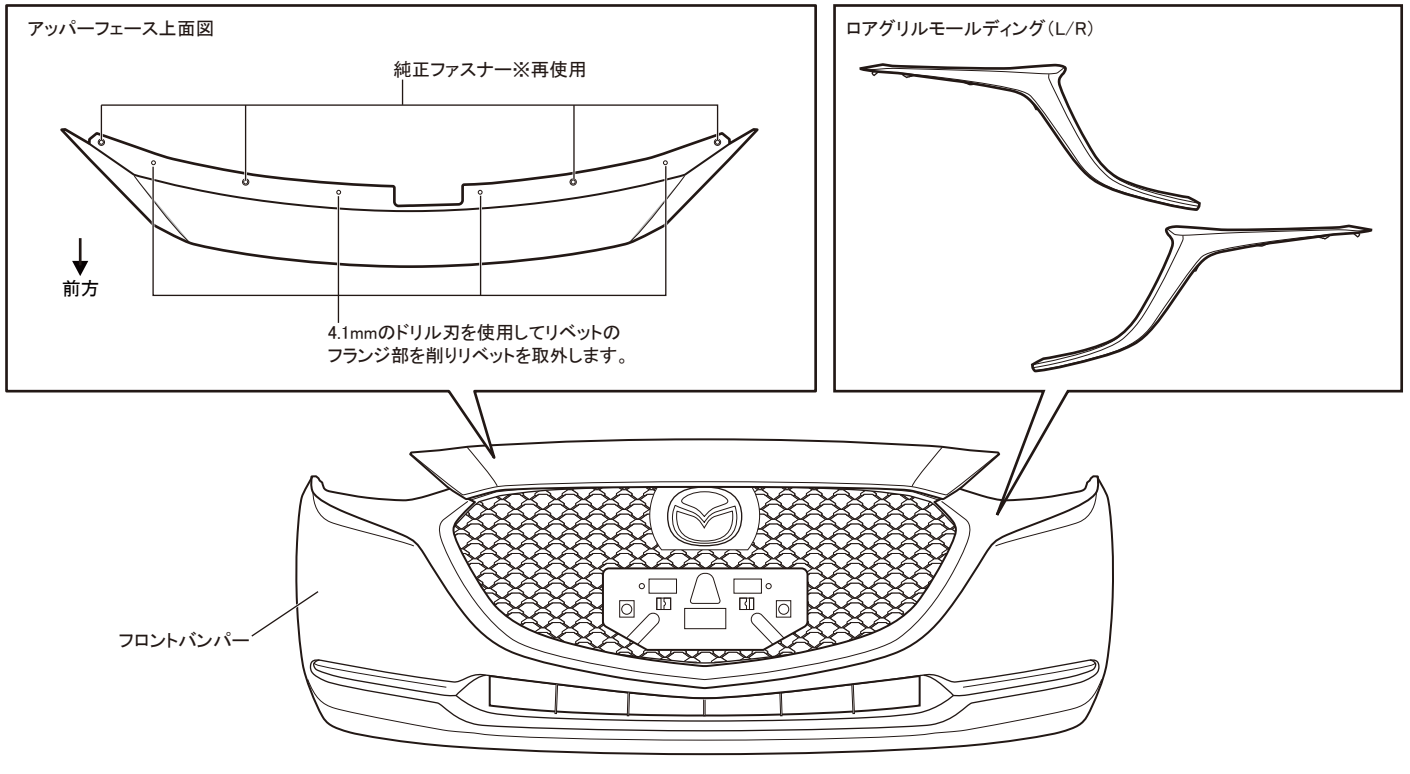


図2 クリップナットの取外し

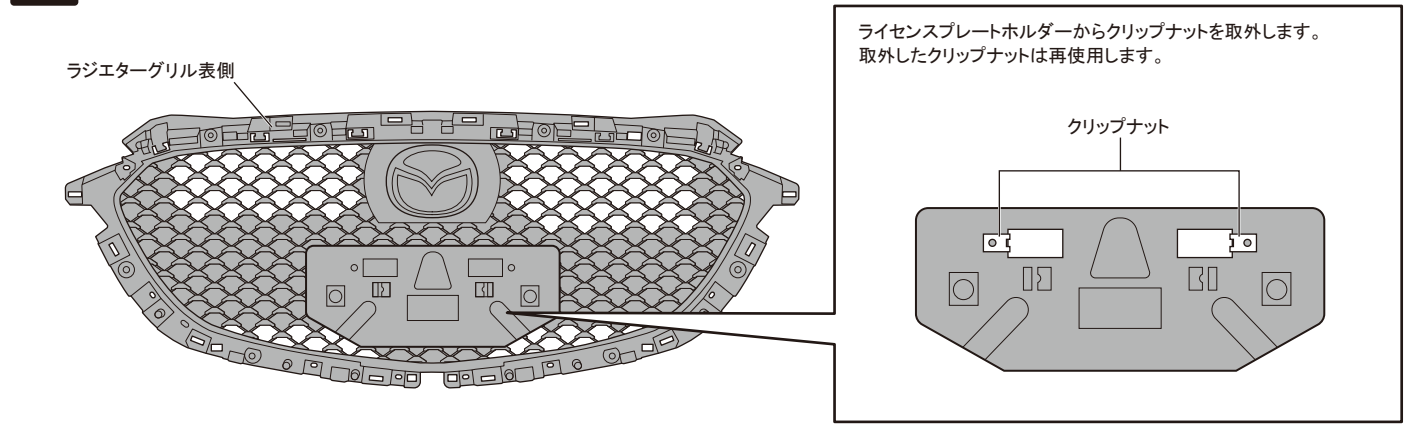


図3 フロントカメラと超音波センサー取外し

ラジエターグリルからフロントカメラと超音波センサーを取外します。取外したビス類は再使用しません。

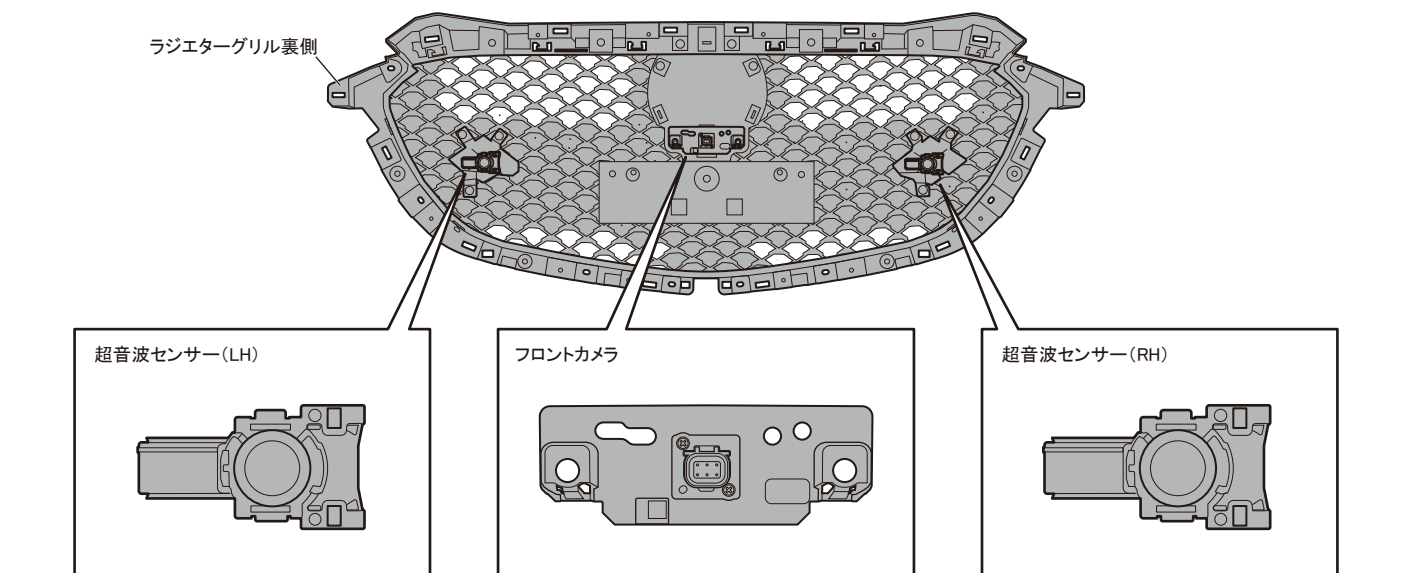
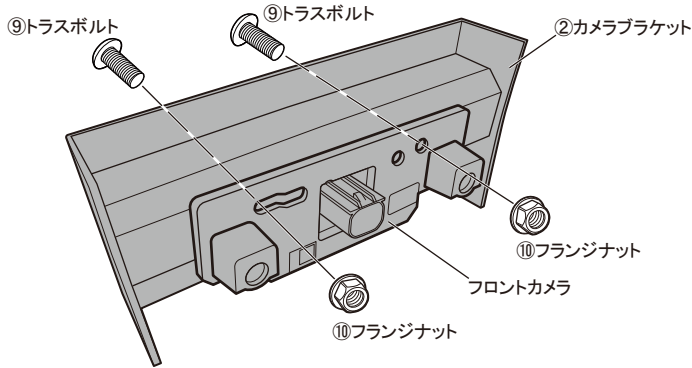


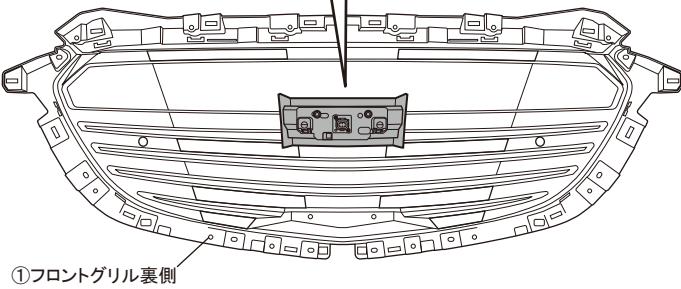
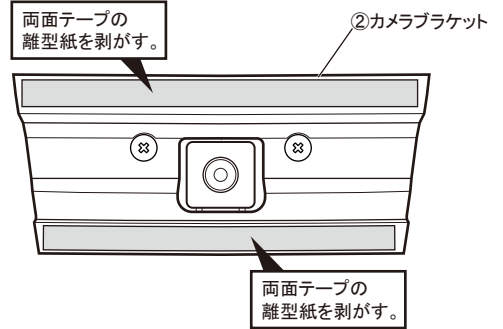
図4 フロントカメラ移設

【フロントカメラ移設】

⑨トラスボルトと⑩フランジナットを使用し、フロントカメラを②カメラブラケットに移設します。



②カメラブラケット裏面の両面テープ離型紙を剥がし、①フロントグリルに貼付けます。



【フロントカメラ無し車】

③カメラフタ裏面の両面テープ離型紙を剥がし、①フロントグリルに貼付けます。

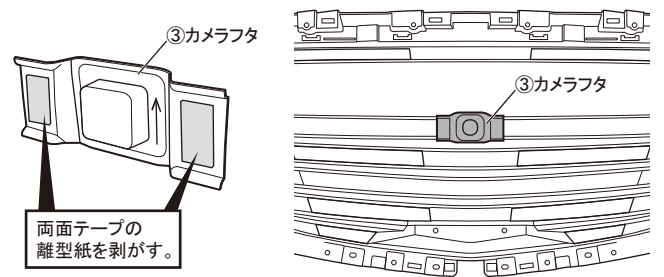
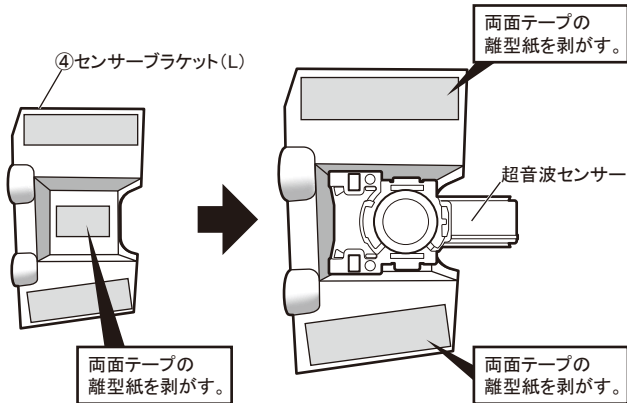


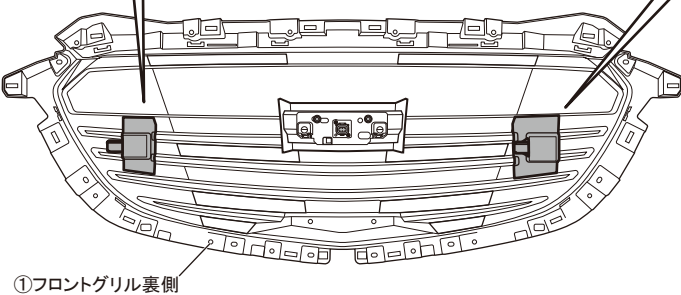
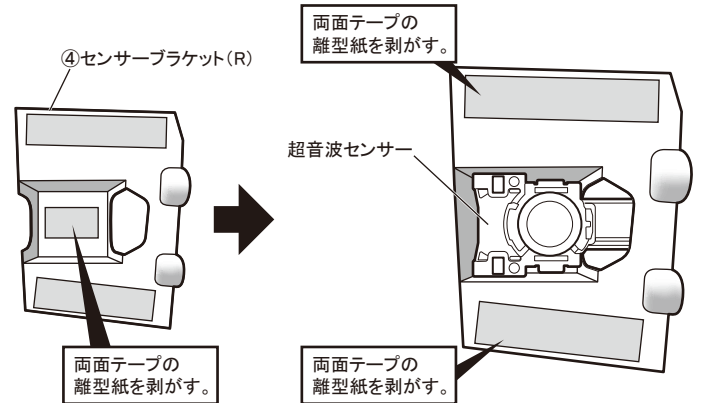
図5 超音波センサー移設

④センサーブラケット裏面の両面テープ離型紙を剥がし、超音波センサーを貼付けた後、①フロントグリルに貼付けます。

【超音波センサー(LH)】

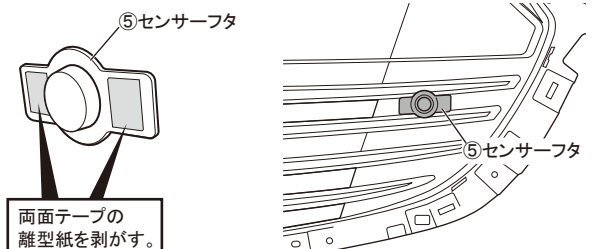


【超音波センサー(RH)】



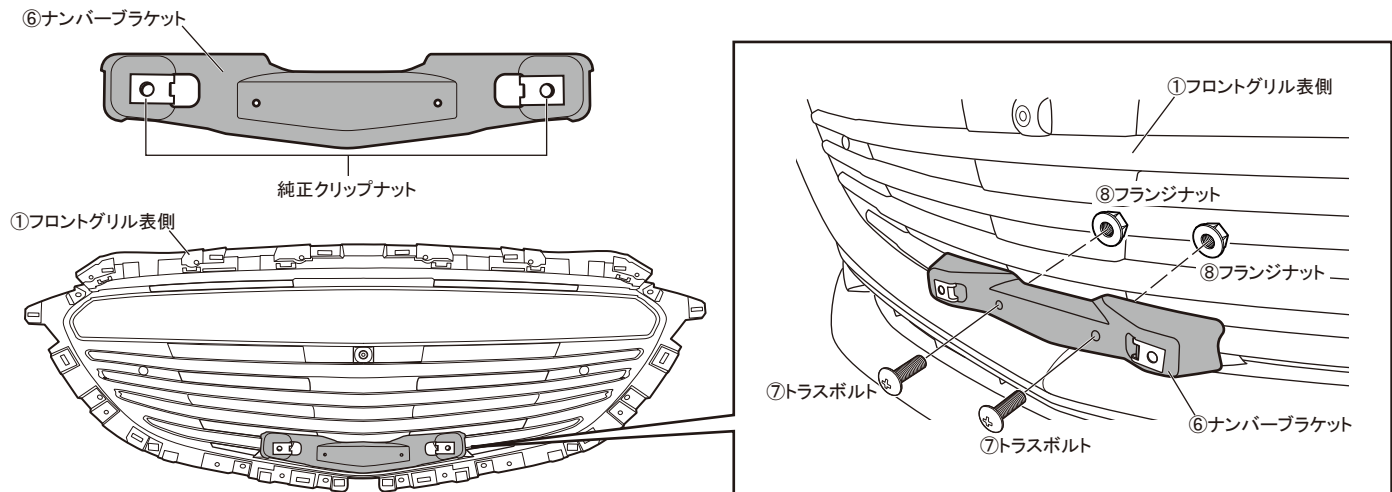
【超音波センサー無し車】

⑤センサーフタ裏面の両面テープ離型紙を剥がし、①フロントグリルに貼付けます。図は右側です。左側同作業。



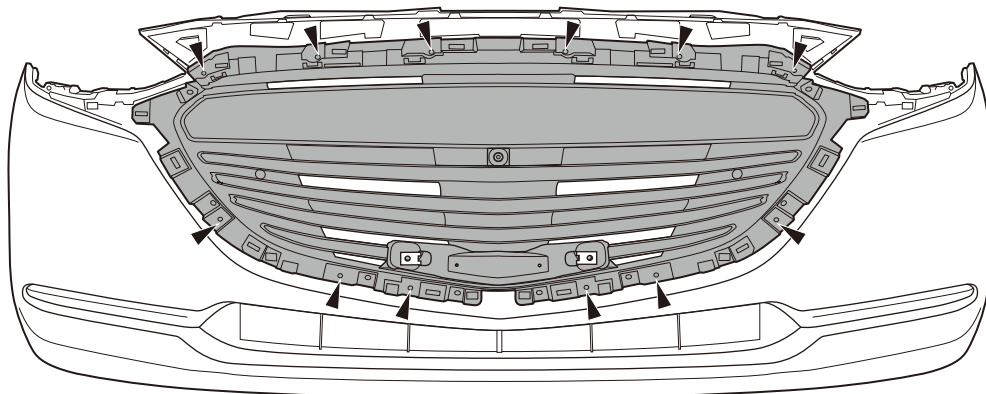
**図6** ⑥ナンバーブラケット取付け

⑥ナンバーブラケットに純正クリップナットを移設した後、①フロントグリル表側に取付けます。



**図7** ①フロントグリル取付け

⑦トラスボルトと⑧フランジナットを使用し、①フロントグリル上側6箇所と下側6箇所をフロントバンパーに固定します。



**図8** ロアグリルモールディングとアッパーフェースの復元

ロアグリルモールディングを復元した後、フロントバンパーを車両に取付け、純正ファスナーと⑨トラスボルト、⑩フランジナットを使用し、アッパーフェースを車両に復元します。

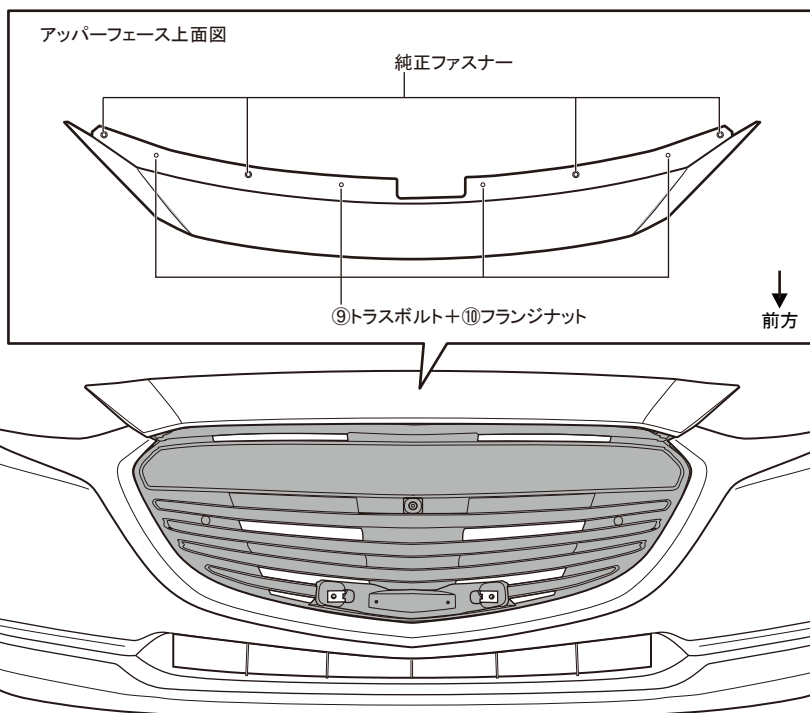


図9 ナンバープレート取付け

純正ボルトを使用し、⑥ナンバーブラケットにナンバープレートを取付け、作業完了です。

